

The background features a soft, light purple and pink gradient. It is adorned with various decorative elements: large, glowing white bokeh circles of different sizes, smaller white and colored dots, and several circular patterns composed of concentric rings of colored dots in shades of orange, purple, blue, and yellow. Some of these patterns resemble stylized fireworks or sunbursts.

キャリアデザインアプローチ NEWS

2019年7月夏の特別号

7月、だいぶ暑くなってきましたね

お身体にはお気をつけて下さい

今回は夏に行きたくなる場所を紹介いたします

☆NIFREL(ニフレル)動物園・水族館☆

ニフレルは、水族館、動物園、美術館のジャンルを超えた、生きているミュージアムです。

☆オススメの動物☆

ホワイトタイガー(愛称アクア オス 6歳 3/16が誕生日)

ホワイトタイガーは世界でも250頭ほどしかいない希少種で、ネコ科動物なのに泳ぎが得意で、水中で涼むこともあるそうです。アクアの好物は肉です。誕生日には肉で作ったケーキをプレゼントしてもらいました。

特徴: 落ち着きがあり、おとなしい性格。日頃の筋トレ(キュレーターとの遊び)の

お陰でマッチョな体型です。ごはんタイムはオススメ!肉が池の上につるされていたりしてジャンプをして肉を取りつつ池に飛び込んだり他にもアクアが運動をする工夫が色々されています。

ミニカバ(お母さんのフルフルと赤ちゃんのタムタム オス2/21に誕生)

コビトカバは世界の三大珍獣の一匹であり、名前のように、肩高は0.7~1m程で、一見して小型のカバか子どものカバのように見えるが、コビトカバは普通のカバとはまったく違った生活をしており、カバは日中に活動するが、コビトカバは基本的に夜行性で、夕方から深夜にかけてもっとも活発に活動します。また、カバがサバンナなどの水辺近くで生活しているのに対して、コビトカバは森の中で生活しています。

ニフレルでは、人気のあるコツメカワウソ(写真左)、カピバラ、ビーバーなど色々な動物や魚類なども見ることができます。

水槽は魚が美しく見えるように工夫されており、ワニは迫力ある様子が現れます。

※動物の飼育スペースや水槽は大変工夫された作りになっており非常に魅力的な作りになっておりますので、動物や魚のごはんタイムに遭遇した方非常に幸運です。※

営業時間 年中無休 ※設備定期点検等のための臨時休業する場合あり

10:00~20:00 (※最終入館は閉館の1時間前まで ※季節により営業時間が変更になる場合あり) 入場料 16歳以上2000円、小中学生1000円、3歳以上600円。

場所 大阪府吹田市千里万博公園2-1 EXPOCITY内 詳しい情報はニフレルインフォメーション (0570-022-060)

交通アクセス・モノレール 万博記念公園駅から徒歩2分 最寄りのバス停 記念公園南口 (近鉄バス)

お車でお越しの方 名神高速道路・近畿自動車道の吹田IC、中国自動車道の中国吹田IC下車。※駐車場はなし※

※飲食関係の施設は1~2時間待ちの場合が多く、ニフレルには再入場できますので、ニフレル前の公園で持ち込んだお弁当などを食べるか事前に食事をしてからの入場がオススメです。※

※ニフレルは大阪で話題になっていますので、混雑している場合が多く平日の午後からが比較的空いているそうです※



アドベンチャーワールド



料金・アクセス

入園料大人（18歳以上）4500円 障がい者大人（18歳以上）2250円

公共交通機関での行き方→ 電車大阪 JR 天王寺駅より紀勢本線特急約 2 時間 JR 白浜駅まで 駅から路線バスでアドベンチャーワールド行約 10 分

営業時間

通常は水曜日が休園日でその他の日は 10:00~17:00 みたいです。夏休みなどは夜間特別営業で 20:30 まで営業されているそうです。水曜日でも開園されています

見どころ



←お父さんパンダの永明です

見どころは有名なジャイアントパンダの家族です。6頭が暮らしています。日本でこれだけのパンダが見られるのはここだけです。昨年生まれた赤ちゃんの彩浜もすくすく成長しています。

環境保護

“未来の動物たちに smile を”と水と木を守る新素材 LIMEX の導入を開始されたそうです。LIMEX は石灰石を主原料とし紙・プラスチックの代替となる日本発の新素材です。通常紙を生産するのに水と木を使用しますが LIMEX の場合ほぼ使用しないことが可能だそうです。持続可能な社会と近年言われていますが、そのためにこのような取り組みをされています。現在の動物だけでなく未来の動物たちのことも考えられた近未来のサファリパークと言えらると思います。



かいゆうかん

「海遊館」とは「すべてのものは、つながっている。」をコンセプトとした世界最大級の水族館です。大阪市港区の天保山ハーバービレッジの中心施設として1990年（平成2年）に開館しました。

海遊館の見どころ

海遊館で飼育展示されている生物の数は約620種にのぼります。入館者はまずアクアゲートというトンネル状の水槽を通り抜けると8階までエスカレーターで上がり回廊型の通路を4階まで下りながら鑑賞することになります。海遊館には世界の海を地域別に分けたブースがあり、各地域の様々な特徴的な生物を見ることが出来ます。その中でも、世界最大の魚類ジンベエザメが人気です。

○お食事タイム

海遊館では毎日1~3回、スポット毎にお食事タイムが設けられています。

○夜の海遊館

夕方5時からは、館内BGMが変わり、幻想的な雰囲気になります。



入園料

大人（高校生・16歳以上）2300円、子ども（小・中学生）1200円、幼児（4歳以上）600円、シニア（60歳以上）※年齢を確認できる証明書（免許証・保険証）が必要 ※3歳以下無料
※障害者手帳をお持ちの方は窓口で手帳を提示すれば通常の半額となります。

アクセス

大阪メトロ 中央線「大阪港駅」1番出口より徒歩約5分
大阪シティバス「天保山ハーバービレッジ」下車すぐ

営業時間

10:00~20:00 ※最終入館は閉館の1時間前まで

お問い合わせ

TEL:06-6576-5501

URL: <https://www.kaiyukan.com/index.html>



海遊館の生き物たち



京都水族館

梅小路公園内にある京都水族館です。

入館すると霧が流れる水槽の中でオオサンショウウオがお出迎えしてくれます。

隣の水槽は京都府北部を流れる由良川をイメージした淡水魚水槽でヤマメなどがゆったり泳いでいます。



続いては海獣ゾーンでオットセイとゴマフアザラシを様々な角度から見るができます。

ゴマフアザラシは円筒状になった所に呼吸もかねてよく遊びに来てユーモラスな姿を見せてくれます。

隣のゾーンはペンギンさんの登場です。最初は1階から水中のかっこいい姿を…、大水槽を挟んで2階からは陸上をぴよこぴよこ歩く可愛い姿が見られます、また餌付けの時間の壮絶さはかなりの見物です。



ペンギン水槽の1階と2階の間にある京の海という大水槽には天橋立付近の海中を再現したのびやかな青の空間が広がり、ベンチに腰掛けて泳ぐ魚を見ることができます。

お次はイルカプールです。ここの特徴は『新幹線と一緒にイルカが見られる』ということではないでしょうか。

なお、ショーの時には前4列くらいはかなり派手に水がかかるので要注意！！でも夏は気持ちいいかもしれませんね。



アクセス 市バス 七条大宮下車すぐ JR 京都駅徒歩15分 JR 嵯峨野山陰線 梅小路京都西駅7分
入館料 大人 2,050円 大学・高校生 1,550円 中・小学生 1,000円 幼児 (3歳以上) 600円
営業時間 10:00~18:00 9時開館・20時閉館の日もあり (入館は閉館の1時間前まで) 年中無休

須磨海浜水族園

ここでのメインは入り口を入ってすぐの暗闇に光り輝くような大水槽と関西では海遊館とスマスイだけでしか見ることができないラッコではないでしょうか？

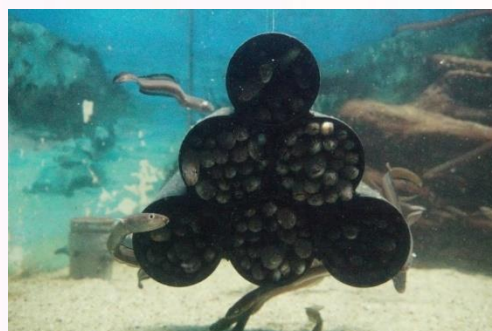
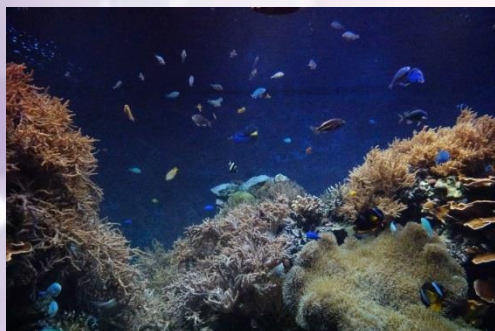
本館からイルカプールまで様々なゾーンがあり結構な広さです、ゆっくり見たい方は時間に余裕を持って行きましょう。

入口のある大水槽が入っている本館です。左が大水槽です、大きく見えないかもしれませんが大水槽です。人がいない写真を一度でいいから撮ってみたい…

色々な魚が泳いでいてよくケンカしないもんだなあ、と感心してしまいます。



水族館っぽく熱帯魚水槽の写真なんか貼りましょうか、子供たちが『ニモだ!!』『ドリーだ!!』と大はしゃぎです。筆者は個人的にアナゴがみっちりマンションに入居しているかのようにパイプの中に入っている光景が大好きです。



さ、ラッコに会いに行きましょう。食事タイム以外だと意外に空いていてちょっと拍子抜けします。

写真には撮れませんでしたでしたが体をゴシゴシするグルーミングや目の前でグルグル回って遊んでるのがかわいいっ!!

また真ん中の写真のように下半分がぼやけて映るのは歴代のラッコたちが餌の貝の殻をガラスで割った傷だそうで今はむき身にした貝を与えているそうです(他にイワシやイカ等)、大喰いなので餌の時間は長めです。



アクセス JR神戸線 須磨海浜公園駅から徒歩5分 山陽電鉄 月見山駅から徒歩10分

入園料 大人(18歳以上)1300円 中人(15~17歳)800円 小人(小・中学生)500円 幼児 無料

9:00~17:00(GWや夏休み中は21:00まで延長) 3月から11月までは無休。

コミックマーケット（コミケ）

コミケとは毎年夏と冬に東京ビッグサイトで開催される世界最大の同人誌即売会です。8月に開催されるものは「夏コミ」、12月に開催されるものは「冬コミ」と呼ばれ、それぞれ開催期間は3日間です。

コミックマーケット 96

日程：2019年8月9日～12日

場所：東京ビッグサイト

※今年は東京オリンピック・パラリンピック関連の事情で開催期間は4日間です。

一般参加者として本を買いに来る人や同人サークルとして参加し本やグッズを売る人でとてもにぎわいます。企業がブースを設けてグッズを売っていたりもします。

会場では物販の他にもコスプレ広場などがあり、本を売り買いしたりコスプレしたりコスプレイヤーを撮影したり仲間と交流したりと様々な楽しみ方があります。



～ 同人誌とは ～

自分の好きなマンガを元に「こういう話ならもっとおもしろくなるんじゃないか、自分ならこう描きたい」などの思いから、そのマンガの自分独自の話や続編を描いたりしたものです。原作にはないオリジナリティがあふれています。

注意点としては、同人誌の中には成人向けの内容が含まれたものもあるので気を付けてください。

また、開場直後は目当てのものを買い逃すまいと大勢の人が会場内に押し寄せ、すさまじい混雑ぶりです。

目当てのものがなく、とりあえずどんな所かのぞいてみたいという方は午後から参加してみるのがいいかもしれません(それでもかなりの混雑ぶりです)。

